

平成 29 年 4 月 26 日

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」（2期連続）

項目	前回（29年1月判断）	今回（29年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）29年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足もとの状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

生産活動ははん用・生産用・業務用機械や食料品等で上昇しているなど持ち直しつつある。個人消費は衣料品など一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、雇用情勢も改善している。

【主な項目の判断】

項目	前回（29年1月判断）	今回（29年4月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	28年度は前年度を上回る計画となっている	28年度は前年度を上回る見込みとなっている	→
企業収益	28年度は増益見込みとなっている	28年度は増益見込みとなっている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額は、婦人服や高額品等が引き続き低調なことから、全体では前年を下回っている。

乗用車新車登録届出台数は、ハイブリッド車やSUV車などが好調なほか、軽自動車も持ち直していることから、全体では前年を上回っている。

コンビニエンスストア販売額は、カウンター商品が堅調なことなどから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 衣料品や住居関連の不振が続いており、堅調な食料品で売上を補っている状況は変わっていない。
(スーパー・大企業)
- 下期は前年並みの客数を維持できているが、客単価が上がらず苦戦している。食料品は好調であるが、収益性の高い婦人服等が苦戦していることから全体の足を引っ張っている。
(百貨店・大企業)
- ハイブリッド車やSUV車、軽自動車などの新車販売が好調となっている。
(自動車販売店・中堅企業)
- 働く女性や高齢者を中心に売れていた惣菜関係はこのところ芳しくないものの、イトインコーナーで昼食を取る客が増えたことから、足もとでは客数・客単価は若干増加している。
(コンビニエンスストア・大企業)
- 3月は引越し関連商品の売れ行きが良く、気温が低かったこともあり、エアコンが良く売れた。
(家電量販店・大企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業指数（生産）で見ると、好調な自動車需要からはん用・生産用・業務用機械が上昇しているほか、スーパーなどでの飲食料品需要から食料品が上昇しているなど、全体では持ち直しつつある。

- 全世界的に好調な自動車需要により、自動車部品の組立・検査装置等の受注が好調であり、計画比で2割増を見込んでいる。
(生産用機械・中小企業)
- 足もとでは自動車販売が国内外を問わず好調となっていることから、当社の受注状況も上向いているものの、米国トランプ政権の政策が読めないため、先行き不透明感が強い。
(非鉄金属・大企業)
- スーパーでの堅調な食料品需要に合わせて足もとの売上も前年を上回っており、生産設備もフル稼働している。
(食料品・中小企業)
- 東京オリンピックに向けてマンション建設が増加しており、エアコン関連部品等の引き合いが多いことから増産している。
(電気機械・中小企業)

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は5か月連続で1.2倍台の水準となっている。新規求人数は足もとで前年をやや下回っているものの、製造業やサービス業などを中心に引き続き前年を上回っている業種も多く、完全失業率も低水準となっているなど、雇用情勢は改善している。

- 技術者が不足しており、特にIoT分野で必要なソフトのエンジニアは他業種を含めて人材の取り合いとなっている。
(電気機械・中堅企業)
- 最近では運送業者の人手不足の影響により納期が逼迫するような事態が生じている。
(化学・中小企業)
- 運送ドライバーの育成に3~4年の期間を要するため、即戦力となる中途採用や派遣に頼らざるを得ないが、派遣人材自体が不足しており、全く人が採れないため、現員で対応できない業務は下請業者などへ委託している。
(運輸・郵便・中小企業)
- 国の政策により介護職員の賃金が引き上げられたことなどを契機として、福祉施設等から正社員の求人が増えており、正社員の有効求人倍率が伸びている。
(官公庁)

- **設備投資** 「28年度は前年度を上回る見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」29年1-3月期
 - 製造業では、非鉄金属などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- | | |
|------------------------------------|------------|
| ➢ 新製品製造用の機械設備の導入や既存設備の維持更新を実施。 | (非鉄金属・大企業) |
| ➢ 本社屋の新設や新規出店、既存店の改装、基幹システムの更新を実施。 | (小売・大企業) |

- **企業収益** 「28年度は増益見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」29年1-3月期
 - 製造業では、非鉄金属などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

【その他の項目】

- **住宅建設** 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数でみると、貸家などで増加しているものの、分譲住宅が前年の大規模物件着工の反動により減少していることから、全体では前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年を下回っている」

前払金保証請負金額でみると、国で増加しているものの、市町などが減少していることから、全体では前年を下回っている。
- **企業の景況感** 「「下降」超となっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」29年1-3月期

企業の景況判断BSIでみると、現状判断は「下降」超となっている。先行きについても、「下降」超で推移する見通しとなっている。
- **企業倒産** 「件数は前年を上回っているが、負債金額は前年を下回っている」

件数は前年を上回っているが、負債金額は前年を下回っている。

お問合せ先：大津財務事務所 財務課 TEL077-522-6455